

令和4年 9月の思いやり通信



家庭の消費、4割エアコン

- * 夏の午後7時ごろの家庭の電力使用割合では、エアコンが38%と一番高くなります。
- * エアコンが電力を多く消費するのは起動時。
- * 外気温が35度以上になる猛暑日の場合は「つけっぱなし」運転がお得。
- * 30度程度までなら「こまめに消す」方がよいです。
- * 扇風機やサーキュレーターをエアコンとあわせて使うのが効果的。
- * フィルターを掃除したり、室外機の周りの風通しをよくして温度を下げたりすることも欠かせません。
- * 室温を上げないように窓の外にすだれをかけたり、カーテンを閉めたりすることも節電につながります。
- * 設定温度を26度から2度上げると約5%の節電効果があります。
- * 2021年型は10年前の製品と比べて、年間の電力使用量は約10%の削減に。
- * 家庭の電力消費が3番目に大きい冷蔵庫は、内部で冷気を循環させるために食品を詰め込みすぎず、逆に冷凍庫は凍った食品が互いに保冷剤の役割を果たすため詰め込む方が効率が良いとされます。

(2022年8月17日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)





太陽光発電設置の注意点 屋根により発電量変化

* 自宅に太陽光発電の設備があれば、発電した電気を自家用に回すことで電気代を削減できます。

・使わなかった電機は「固定価格買い取り制度（F I T）」により 10 年間は同じ金額で電力会社が買い取ってくれます。

* F I T がスタートしたころは 1 キロワット時あたり 40 円超だった買い取り価格は年々下落し、2022 年度は 17 円。

* 設置容量を全国平均値の 6.04 キロワットとした場合、初期投資には 132 万円ほどかかります。

* 住宅密集地では、パネルを載せられても 3 キロワット程度。

* パネルの容量が小さいほど初期費用が割高となり、発電量も少ないため、コスト回収までの年数も伸びます。

* 導入するなら、パネルをどれだけ多く設置できるかがカギ。

* 太陽光発電の弱点の一つは、太陽が昇っている日中しか発電しないこと。

* 電気をためて夜間にも使いたいなら、蓄電池の導入が選択肢に。

* 蓄電池は 100 万円以上。

* 太陽光発電を設置する家庭の約 6 割が蓄電池も購入。

* 多くの市区町村で太陽光や蓄電池に補助金を出しています。

☆太陽光発電の導入ポイント

メリット	注意点
<p>* 発電した電気を自家用に使えるので、そのぶん電気代を削減できる</p> <p>* 使わずに余った電気は、10 年間同じ単価で電力会社に買い取ってもらえる</p> <p>* 停電時も非常用電源として使えるため、災害時の備えにもなる</p>	<p>* 都市部だと屋根が小さくて発電量が少なかったり、周囲の環境次第で発電に向かなかつたりする場合も</p> <p>* 「固定価格買取制度」が終了すると、買い取り金額は以前より下がるので、売電収入も減る</p> <p>* 発電した電気をためておくための蓄電池はまだ価格が高い</p>

(2022 年 8 月 27 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

